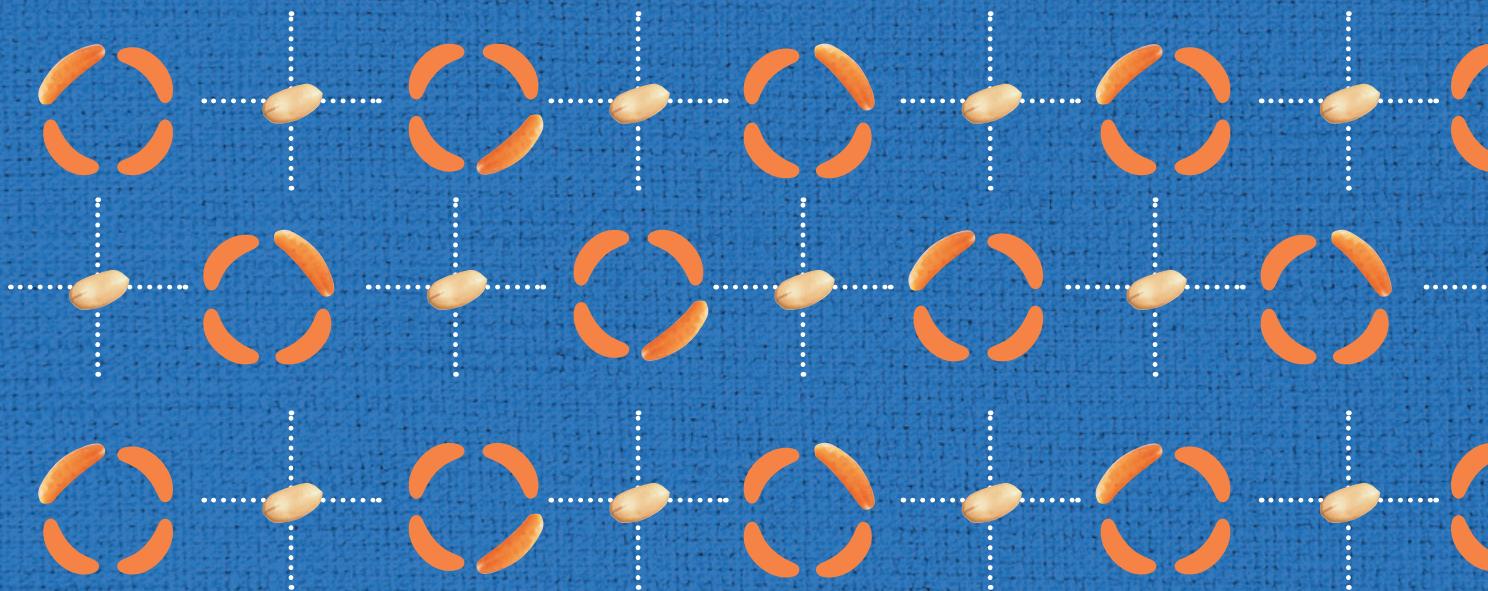




# 第62期 株主通信

中間 2018年4月1日～2018年9月30日



## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。

この2018年度から新中期経営計画「Changing gears 2023」がスタートしました。当グループは、“美味しく からだに良いものを選び、食べ、楽しむ、健やかなライフスタイルへの貢献”を示す“Better For You”の観点からお客様価値を提供し、「グローバル・フード・カンパニー」の実現を追求してまいります。

2023年度までの中期経営計画期間においては、海外事業及び国内食品事業を中心とした「事業領域の拡大」、国内米菓事業におけるブランド集約と新商品育成によるポートフォリオ強化及び製造原価改善を中心とした「コスト・収益構造の転換」、そしてこれらの取り組みを支える「経営基盤の強化」に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長 CEO  
田中通泰

代表取締役社長 COO  
佐藤 勇

### 連結業績ハイライト (第2四半期)

#### 売上高

47,000百万円  
前年同期比 0.0%増

#### 営業利益

1,312百万円  
前年同期比 32.0%増

#### 経常利益

1,802百万円  
前年同期比 14.3%増

#### 親会社株主に帰属する 四半期純利益

1,143百万円  
前年同期比 10.3%増

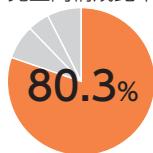


## 部門別概況

### 国内米菓事業

「亀田の柿の種」がプロモーション強化等により前年同期を上回るも、「ハッピーターン」等主力ブランドの一部が前年同期を下回り、減収となりました。一方、原材料及びエネルギーコストが上昇するも、製品アイテム数の効率化及び主力商品の拡販による工場稼働率の向上により、製造原価率が改善した結果、増益となりました。

売上高構成比率



売上高

37,754百万円  
(前年同期比 0.2%減 ↓)

営業利益

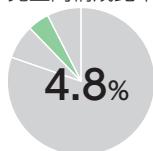
1,445百万円  
(前年同期比 7.7%増 ↑)

営業利益率 3.8%

### 国内食品事業

長期保存食の買替需要は一巡するも、更なる備蓄需要の高まりを受け、増収増益となりました。植物性乳酸菌の販売に関しては、B to Bにおける採用アイテム数が増加、B to C向けサプリメントのテスト販売を開始しました。

売上高構成比率



売上高

2,278百万円  
(前年同期比 10.2%増 ↑)

営業利益

189百万円  
(前年同期比 14.9%増 ↑)

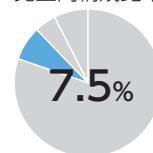
営業利益率 8.3%

※「国内食品事業」の主な内容は、長期保存食や植物性乳酸菌などです。

### 海外事業

北米市場においては、Mary's Gone Crackers, Inc.が前年の気象要因に伴う操業停止から回復し、増収増益となりました。アジア市場においては、タイを拠点としたクロスボーダー取引に注力すると共に、カンボジアに新たな生産拠点としてLYLY KAMEDA CO., LTD.を設立しました。

売上高構成比率



売上高

3,508百万円  
(前年同期比 5.5%増 ↑)

営業利益

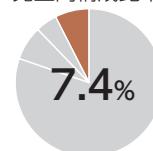
△445百万円  
(前年同期比 — ↓)

※「海外事業」は、海外子会社に加え、国内の輸出入取引を含んでおります。

### その他(貨物輸送等)

亀田製菓グループ外の菓子・日用品の共同配送及び幹線輸送の拡大に取り組みましたが、燃料費の上昇及びドライバー不足等の影響を受け減益となりました。

売上高構成比率



売上高

3,459百万円  
(前年同期比 8.1%減 ↓)

営業利益

123百万円  
(前年同期比 48.7%減 ↓)

営業利益率 3.6%

## 業績の概要

### 亀田製菓グループの2018年度上半期の連結業績は、前年同期に比べ増収増益となりました。

2018年度上半期におけるわが国経済は、相次ぐ自然災害の発生が懸念要因となる中で、堅調な企業収益が雇用、所得環境の改善へと波及し、個人消費を下支えする循環の中で、緩やかな回復基調が続きました。一方で、米国を中心とした保護主義の台頭による通商問題の広がりもあって、世界経済の先行きは不透明な状況と言えます。食品業界においては、底堅い需要に支えられているものの、国内における人手不足の深刻化や、原材料、燃料価格の上昇が収益の押し下げ要因となり、本格的な回復には未だ時間を要する見通しにあります。

こうした状況下、当グループは、「ブランドを軸とした需要創造、生産・販売部門一体となった原価低減」、「北米事業の生産基盤構築と成長戦略の推進」、「クロスボーダー取引拡大に向けた基盤整備とアジア現地市場開拓の継続」、「Better For You食品等新事業への経営資源投入」を重点施策として取り組んでおります。

**国内米菓事業**については、ブランド育成の取り組みとして、主力ブランドの定番商品の販売を強化するとともに、効率性重視の観点から製品アイテム数を削減、適正化することで収益性の向上を図りました。加えて、一部製品においては、主原料価格の上昇を踏まえ、期初に内容量の改定を行う等の対応策を行いました。また、今後の可能性を踏まえ、SNS等を活用したプロモーション強化やeコマース専用商品の発売を通じ

て、米菓食シーンの拡大に向けた需要喚起を図りました。

**海外事業**については、前年同期において、米国の連結子会社であるMary's Gone Crackers, Inc.が、周辺地域の記録的大雨による近隣ダム決壊危機の影響を受けたことから、当上半期の売上高は前年同期を上回りました。また、同社において、今後の事業拡大に備え、かねてより進めてきた生産機能の新工場への移転集約が、2018年7月に完了しております。

**国内食品事業**については、長期保存食の買替需要サイクルが裏期に入るものの、昨今の食糧備蓄需要の高まりを背景に、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は47,000百万円(前年同期比0.0%増)となりました。

利益については、原材料価格の上昇や、キャッシュ・フローの観点から棚卸資産を抑制したことに伴い、一時的に生産効率が低下した影響を受けました。一方で、第2四半期以降、「亀田の柿の種」を中心とした主力ブランドの販売強化により工場稼働率が向上すると共に、加えて、棚卸資産の抑制によるコスト改善効果、更には海外事業において、前年に発生した米国子会社における操業停止影響からの回復が見られると共に、新工場への統合効果が徐々に発現しております。

これらの取り組みの結果、営業利益は1,312百万円(前年同期比32.0%増)となりました。



2018年度からの新中期経営計画においては、食品業界を取り巻く環境変化を踏まえ、“美味しく からだに良いものを選び、食べ、楽しむ、健やかなライフスタイルへの貢献”を示す“Better For You”の観点からお客様価値を提供し、「グローバル・フード・カンパニー」の実現を追求してまいります。

2030年度には、“あられ、おせんべいの製菓業”から“Better For Youの食品業”へと進化すべく、2023年度までの長期視点で構造改革を実行し、スピードをあげて持続的な成長と企業価値の向上に取り組んでまいります。

## Better For You KAMEDA

### 健康菓子・食品

美味しく からだに良いものを選び、食べ、楽しむ、  
健やかなライフスタイルへの貢献

### Better For You 食品

素材まるごとの栄養素を活用し、美味しく健康価値ある商品を提供する  
～ 素材本来の栄養素で、カラダの中から健康にする ～

### 欧米版 Better For You

NON-GMO, Organic, Gluten Free,  
Whole Grain, Vegan

## 「グローバル・フード・カンパニー」の追求 Changing gears 2023

	2017年度実績		2020年度計画		2023年度計画		CAGR (2017 VS 2023)
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	
連結売上高	99,522		113,000		130,000		4.6
営業利益	5,007		9,000		13,000		17.2
営業利益率		5.0		8.0		10.0	
EBITDA	9,153		14,400		19,200		
EBITDAマージン		9.2		12.7		14.8	
ROE		8.9		11.5		12.0	
海外売上高比率*		25.3		29.2		31.4	

※持分法適用会社を含む総事業規模ベース

亀田製菓

- 製造原価率 45%
- EBITDA (2017年度比) 2倍
- 海外売上高比率\* 30%以上

2023年度  
成長への  
変曲点

### 〈新しい事業ドメインの確立〉

- ▶ スーパー米菓事業
- ▶ 欧米版Better For You事業
- ▶ Better For You食品事業

Better For You  
KAMEDA

2030年度

### 〈食品企業への進化〉

- 時価総額 3,000億円以上
- 営業利益 250億円以上
- ▶ 国内菓子系食品大手水準の企業価値
- ▶ 国内米菓以外の売上高比率 50%以上

「Changing gears 2023」 本中期経営計画期間

「Upshift 2030」

2030年度

## 中期 経営計画 の骨子

### 事業領域の拡大

- Mary's Gone Crackers, Inc.を核とした米国版Better For You需要の取り込み
- 海外ネットワークを活かしたクロスボーダービジネスの拡大
- 美味しく健康価値ある商品を提供する国内食品事業の本格展開
- M&Aの実行を契機とした業容の拡大

### コスト・収益構造の転換

- ブランド集約と新商品育成によるポートフォリオ再構築
- 営業改革による高効率営業体制の構築
- 先進的な生産方式導入、効率化投資による製造原価率の低減

### 経営基盤の強化

- グローバルガバナンス体制の強化、グローバル人材育成の加速
- ESGへの取り組み強化
- コーポレートラボによるイノベーション創出力の向上と、技術応用の加速



## 米菓

## 「亀田の柿の種」のコンセプトショップ 「柿の種ワールド」が大盛況！



2018年6月、東京駅八重洲地下中央口改札前の「東京おかしランド」に、亀田製菓グループの柿の種を集めたコンセプトショップ「柿の種ワールド」を出店しました。「柿ピー研究者」中倉隆道氏おすすめの柿の種を詰め合わせた「スーパー激レアセット」に行列ができるなど大盛況。この様子はTVに取り上げられると共にSNSでも大きな話題となりました。

new product

新商品

## タネザック

「亀田の柿の種」から  
初のカップスナックが登場！



砕いた柿の種とピーナッツを固めた、ザックザック食感とピリ辛の味わいはやみつきになる美味しさ！今までの柿の種とはひと味もふた味も違う、「ニュースタイル柿の種」をお楽しみください。



## 米菓

## 「幸福の日(5月29日)」にハッピーのお裾分け！

「幸せ(ハッピー)がお客様に戻ってくる(ターン)ように」と願いをこめて生まれた「ハッピーターン」。たくさんの方にハッピーが訪れることを願って、亀田製菓全社をあげて「ハッピーターン」のサンプリングを行いました。5月29日はルミネエスト新宿でサンプリングを実施し、多くの方に大好評をいただきました。



RENEWAL

リニューアル

## こつぶっこ

お客様の声に応じてアレルゲン“乳成分”を除去

一口サイズでこどものおやつにぴったりな「こつぶっこ」ですが、乳成分のアレルギーを気にするお声をいただいております。この度、より多くのお客様に召し上がっていただけるよう、美味しさをそのままに“乳成分”を除去しました。





## 海外グループ

## LYLY KAMEDA CO., LTD. (以下LKD社) 設立

2018年7月、カンボジアにおいて米菓の製造販売を行っているLYLY FOOD INDUSTRY CO., LTD.と共同でLKD社を設立しました。

カンボジアは米が豊富に収穫されると共に、将来にわたり労働力を安定的に確保することが可能です。

こうした事業インフラに、当社が日本国内で培った安全・安心な商品作りのノウハウ及び製造技術を融合することで、高品質かつコスト競争力を兼ね備えた生産拠点として、米菓の輸出販売を行います。



地鎮祭の様子



## 海外グループ

## Mary's Gone Crackers, Inc.工場統合完了



Reno工場



製造ライン

当社の連結子会社であるMary's Gone Crackers, Inc.は2018年7月、カリフォルニア州Gridley工場からネバダ州Reno工場への統合を完了しました。Reno工場では包装までを自動で行うことができ、製造コストの大幅改善が見込めます。また、品質管理能力や安全性、従業員の労働環境も向上しました。



## 国内グループ

## とよす株式会社

## 「あられとよす」ブランドを全面リニューアル

当社の連結子会社であるとよす株式会社は、2018年5月に百貨店を中心に店舗を展開している「あられとよす」ブランドの全面リニューアルを行いました。お客様の「少しずつ食べたい」というニーズに応えるために、自宅用の商品にジッパーを付けて保存性を高めました。また、ギフト需要の多い40代向けに、ワインやコーヒーにも合う多彩な味付けの洋風ギフト商品「あられりえ」を新発売しました。



## 国内グループ

## 尾西食品株式会社

## 「尾西のミルクスティック」パッケージリニューアル

当社の連結子会社である尾西食品株式会社は、手軽にカルシウムを補給できる「尾西のミルクスティック」のパッケージをリニューアルしました。災害時には、食料を配給や炊き出しに依存することがありますが、主食が中心となり栄養が偏りがちになります。「尾西のミルクスティック」は災害時に不足する栄養素「カルシウム」を手軽に摂取できます。また、普段不足しがちなカルシウムの補給としても手軽にお楽しみいただけます。





## 食品

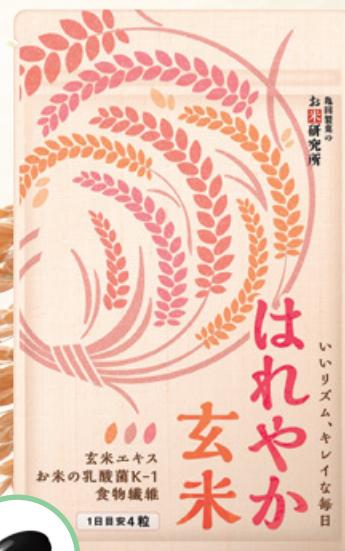
## 「はれやか玄米」2018年4月発売

いつまでもいきいき健康に過ごしたい、美しくありたいと願う女性の健康をサポートするサプリメントとして「はれやか玄米」の販売を開始しました。

「はれやか玄米」は、玄米ごはん3杯分の成分と、お米由来の亀田製薬独自の「植物性乳酸菌K-1」1,000億個を4粒のソフトカプセルに濃縮(1日当たりの摂取目安)。毎日続けられるサプリメントです。

## 植物性乳酸菌とは？

植物に生息する乳酸菌のことで、漬物やみそなどの伝統食品に親しんできた日本人には馴染み深い菌です。特に「お米の乳酸菌」は、お米の環境に適合した乳酸菌のため、昔からお米を主食とする日本人にとって相性が良いと考えられています。



## 「くるみん認定」を取得

2018年5月、厚生労働大臣より「子育てサポート企業」として「くるみん認定」を取得しました。

当社では、今後も仕事と子育てを充実させることができ、すべての従業員が能力を十分に発揮できるようにするため、行動計画に基づいた取り組みを行ってまいります。また、本認定を機に、その取り組みを積極的に推進してまいります。



授賞式の様子



特

集

# お米研究所通信

当社では、お米由来の「植物性乳酸菌K-1」と「植物性乳酸菌K-2」を業務用の機能性素材として、主に食品企業向けに販売しております。

K-1、K-2は殺菌済みの粉末に1グラム当たり1兆個(生菌換算)含まれるので、各種食品に配合しやすいとご好評をいただいております。



## 「植物性乳酸菌K-1」による整腸作用について

当研究所は、「植物性乳酸菌K-1」が従来の半分の摂取量50mg/日(500億個)でも、便通改善効果を有することをヒト試験で確認し、2018年4月に論文を発表いたしました。

本研究は、便秘気味の成人男女95名を対象に行い、K-1を摂取するグループと、摂取しないグループに分け、2週間を試験期間としてアンケートを行い、検証したものです。その結果、K-1を摂取したグループは摂取しないグループと比較し、排便状況が改善しており、整腸作用があることが明らかとなりました。

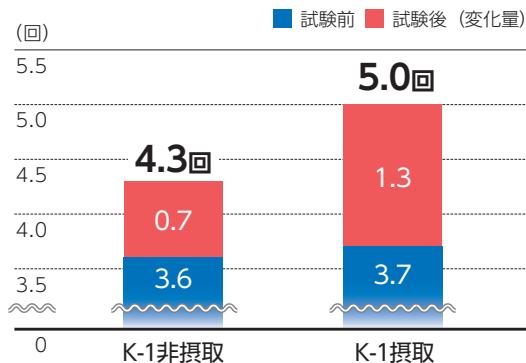


▲ 植物性乳酸菌 K-1とK-2の粉末



▲ 植物性乳酸菌 K-1の電子顕微鏡写真

### K-1摂取、非摂取グループの排便回数変化の比較



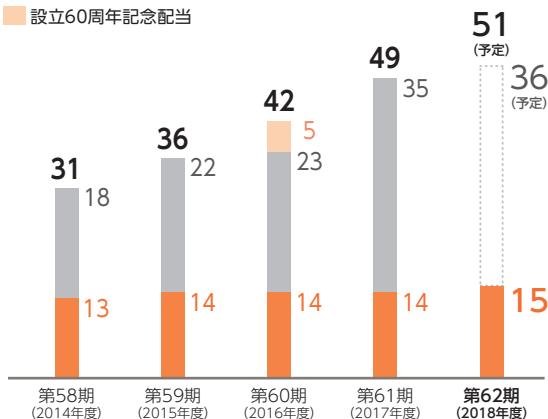
当研究所は、植物性乳酸菌 K-1、K-2のヒトに対する新たな効果の探索を進めてまいります。

# 株主様インフォメーション

## II 配当金のご案内

1株当たりの配当金 (単位:円)

■ 中間配当
 ■ 期末配当  
■ 設立60周年記念配当



当社は、「グローバル・フード・カンパニー」の実現に向けた国内外での投資と株主の皆様に対する利益還元バランスを考慮しながら、中期経営計画を実行し収益の拡大を図り、利益配分を安定的に拡大することを目指してまいります。また当社は、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。

**2018年度 1株当たりの配当金 51円(予定)**

中間配当金 15円

期末配当金 36円(予定)

## II 株主様へのご優待

**贈呈対象** 毎年9月30日現在の100株以上ご所有の株主様に、当グループ製品の詰め合わせを贈呈させていただきます。

**贈呈時期** 12月中旬頃

100～999株をご所有の株主様

1,000円相当の詰め合わせ



1,000株以上をご所有の株主様

3,000円相当の詰め合わせ



※画像は詰め合わせ製品例です。

# 会社概要／役員／株式の状況 (2018年9月30日現在)

## II 会社概要

商号 亀田製菓株式会社  
 設立 1957年8月26日  
 資本金 19億4,613万円  
 従業員数 1,551名 (連結 3,414名)  
 グループ会社

### 連結子会社 12社

**国内7社** アジカル株式会社  
 とよす株式会社  
 株式会社日新製菓  
 尾西食品株式会社  
 新潟輸送株式会社  
 亀田トランスポート株式会社  
 株式会社エヌ.エイ.エス

**海外5社** 青島亀田食品有限公司(中国)  
 THAI KAMEDA CO., LTD. (タイ)  
 KAMEDA USA, INC. (アメリカ)  
 Mary's Gone Crackers, Inc. (アメリカ)  
 LYLK KAMEDA CO., LTD. (カンボジア)

### 持分法適用関連会社 3社

**海外** TH FOODS, INC. (アメリカ)  
 THIEN HA KAMEDA, JSC. (ベトナム)  
 Daawat KAMEDA (India) Private Limited (インド)

## II 役員

代表取締役会長 CEO	田中 通 泰
代表取締役社長 COO	佐藤 勇
取締役	古泉 直 子
取締役	小林 章
取締役(独立社外)	坂本 正 元
取締役(独立社外)	関 誠 夫
取締役(独立社外)	堤 殷 殿
取締役(独立社外)	前田 仁
取締役(独立社外)	Mackenzie Donald Clugston
取締役(独立社外)	三宅 峰三郎
常勤監査役	近藤 三千哉
常勤監査役	荒木 徹
監査役(独立社外)	矢澤 健 一
監査役(独立社外)	湯原 隆 男

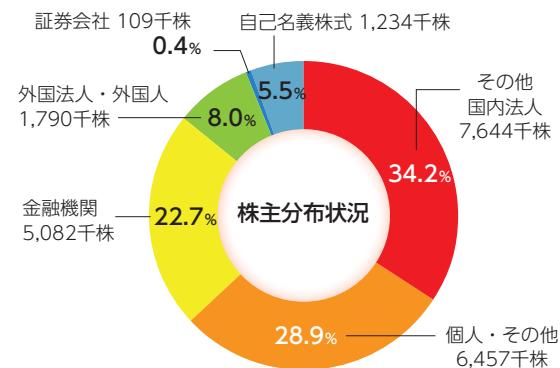
## II 株式の状況

発行可能株式総数 59,251,000株  
 発行済株式の総数 22,318,650株  
 株主数 11,141名

### 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社エイケイ	2,102	9.96
KAMEDA共栄会	1,933	9.16
株式会社第四銀行	1,039	4.92
株式会社みずほ銀行	762	3.61
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	663	3.14
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	562	2.66
亀田製菓従業員持株会	510	2.42
株式会社原信	414	1.96
キッコマン株式会社	347	1.64
第四リース株式会社	325	1.54

(注) 1. 当社は自己株式1,234,271株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。  
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。



## 亀田製菓のIRサイトのご案内

IR情報やプレスリリースなど、最新の情報をご覧いただけます。  
ぜひアクセスしてください。

企業情報

IR情報

企業情報 からメニューを表示

IR情報をクリック



トップページ



IRページ

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月開催
剰余金の 配当基準日	3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）
単元株式数	100株
株主名簿 管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告の方法	電子公告 公告アドレス： <a href="https://www.kamedaseika.co.jp/koukoku/index.html">https://www.kamedaseika.co.jp/koukoku/index.html</a>
証券コード	2220（東証1部）

	証券口座にて株式を 管理されている株主様	証券会社とのお取引がない 株主様（特別口座の場合）
郵 送 物 送 付 先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行証券代行部
電 話 お 問 い 合 わ せ 先	お取引の証券会社に なります。	フリーダイヤル 0120-288-324 （土・日・祝日を除く） 9:00～17:00
お 取 扱 窓 口		みずほ証券 及び みずほ信託銀行
未 払 配 当 金 の お 支 払	みずほ信託銀行 及び みずほ銀行 （みずほ証券では取次のみとなります）	

### 特別口座の単元未満株式(1～99株)の買取について

買取請求は、お持ちの単元未満株式(1～99株)を当社へ売却することができる制度です。特別口座で買取請求を行う場合は、買取代金の振込口座などを記入した「単元未満株式買取請求取次依頼書」をご提出いただくこととなりますので、みずほ信託銀行証券代行部(0120-288-324)までお問い合わせください。

## 亀田製菓株式会社

〒950-0198 新潟県新潟市江南区亀田工業団地3丁目1番1号

電話 025-382-2111 (代表)

<https://www.kamedaseika.co.jp/>



この報告書は、環境に配慮し、バジタブリンキを使用しています。